

図1. 硬膜外腔へ注入した薬液の若年者と高齢者における広がりの違い (実践 臨床麻酔マニュアル より引用)

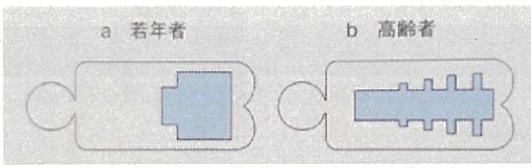


図2. 皮膚から硬膜外腔までの距離と性差 (硬膜外鎮痛と麻酔 理論から手技の実際まで より引用)

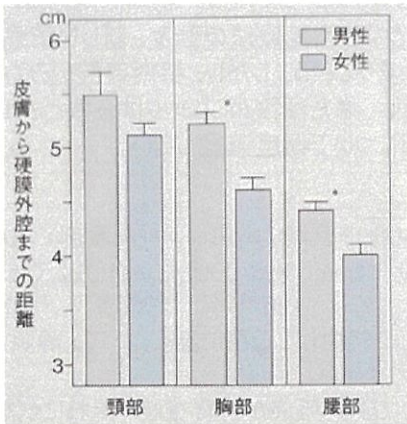


図3. リドカイン血中濃度と局所麻酔薬中毒の症状 (実践 臨床麻酔マニュアル より引用)

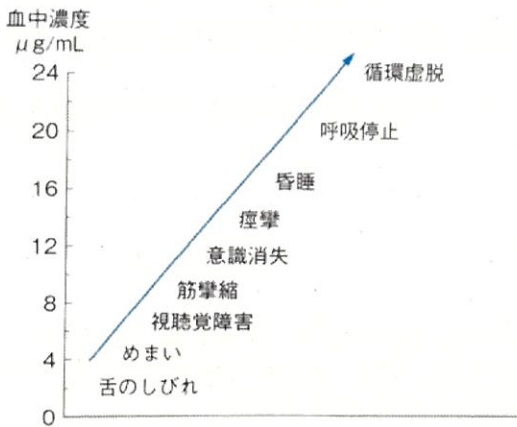


図4. 全脊髄くも膜下麻酔と硬膜下麻酔の鑑別 (硬膜外鎮痛と麻酔 理論から手技の実際まで より引用)

	全脊髄くも膜下麻酔	硬膜下麻酔
症状発現	早い(2~7分)	遅い(15~20分), まれに早い
意識喪失	有	無
脳神経麻痺	有	まれに有
感覚麻痺	広範囲	広範囲
運動麻痺	有	少ない
呼吸抑制	有	まれ
低血圧	高度	中等度
回復	早い(意識は1時間以内に回復)	早い(2時間で完全回復)